

議 事 録

- 1 会議の名称 令和5年度 第1回 石岡市複合文化施設整備審議会
- 2 開催日時 令和5年5月31日(水) 午後1時30分から午後3時30分まで
- 3 開催場所 石岡市役所 2階201・202会議室
- 4 出席した者の氏名
谷島市長、大澤委員、加藤委員、山本(進)委員、富田委員、中根委員、佐々木委員、西牧委員、鴫田委員、原部委員、長谷川(貞)委員、長谷川(京)委員、土子委員、山本(真)委員、木村委員、甲斐委員、渡邊委員、山口臨時委員
事務局：市長直轄組織 浅田理事
駅周辺にぎわい創生課 複合文化施設整備推進室
瀬尾参事兼課長、長谷川室長、富田係長、江原技幹
- 5 議題
 - ・会長、副会長の選任について
 - ・複合文化施設基本構想について
 - ・その他
- 6 審議の内容
 - ・議事録のとおり
- 7 担当課の名称 市長直轄組織駅周辺にぎわい創生課 (複合文化施設整備推進室)
- 8 議事録
 - (1) 開会
 - ・市長挨拶
 - ・委嘱状交付
 - ・定足数報告 (委員19名中17名出席)

(2) 議事

■市長（仮議長）

それでは、会長・副会長が決まるまでの間、議長を務めさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

会長の選任についてですが、石岡市複合文化施設整備審議会条例第4条第2項の規定により、同条例第3項第1項1号に掲げる常任委員のうちから、互選により選出することとなっております。

また、副会長については、同条例第3条第1項の常任委員の互選より定めることとなっております。どのような方法で決めたらよろしいでしょうか。ご意見がございましたらご発言願います。

■委員

議長一任。

■市長（仮議長）

ただいま議長一任のご発言が出されました。
皆さんよろしいでしょうか。

■委員

異議なし。

■市長（仮議長）

それでは事務局案をお願いします。

■事務局

事務局案としまして、会長に大澤委員。副会長に青木委員をご提案いたします。

■谷島市長（仮議長）

ただいま事務局より出された案について、異議はございますか。

■委員

異議なし。

■市長（仮議長）

異議なしということですので、大澤委員を会長に、青木委員を副会長に決定いたします。それでは、これ以降の議事進行につきましては、大澤会長にお願いしたいと思います。

■会長

私の仕事としては全体の意見を引き出し若い世代のことを意識する。全体の意見を整理するというミッションがあります。

市長がおっしゃったまちづくりにどう関連していくのか、建物を建てるのが目的ではなくてまちづくりが目的です。そのように持ってきていきますので、どうぞよろしくお願ひします。

それでは議事に入りたいと思います。まず、本日の会議の議事録署名人ですが、委員、委員の2人をお願いしたいと思いますが、よろしいでしょうか。

■会長

本日議題は2つあります。まず1つ目は石岡市の複合文化施設整備基本構想について、事務局から説明をお願いいたします。

■事務局

複合文化施設整備基本構想（案）について、概要版を用いて説明をします。はじめに複合文化施設整備事業の経緯について説明します。

この複合文化施設整備事業につきましては、当初、図書館を中核とした施設整備を目指し、平成18年3月に石岡のイベント広場を建設地とした施設整備も基本設計まで計画をしたが、平成19年に小中学校の耐震化を優先させるために事業を凍結した経緯があります。その後、令和2年3月の石岡市市民会館の閉館を受けて、市民ホールを中核とした施設整備を進めていく方向になりました。それに基づきまして、基礎調査業務を委託発注、市民参加によるワークショップの開催、利用団体や市民へのアンケート調査の実施を経て、令和4年7月に複合文化施設基本計画（案）、議会にご提示をさせていただきました。

提出いたしました基本計画（案）につきましては、議会に設置されました複合文化施設建設特別委員会におきましてご審議いただき、その中で様々なご意見や課題等をいただいたことを受けまして、執行部としましても、再整備が必要であると判断し、昨年10月に提出しました基本計画（案）を取り下げ、改めて庁内において議論を進めてきたところでございます。以上が複合文化施設整備事業のこれまでの経緯でございます。

続きまして、複合文化施設整備基本構想（案）についてご説明申し上げます。

概要版の2ページをご覧ください。はじめに、「第1 基本構想の策定にあたって」でございます。今回まとめました基本構想は、複合文化施設の整備へ向けた基本理念や基本方針をまとめたほか、今後検討すべき課題等について整理を行っております。今後、この基本構想をもとに、石岡市複合文化施設整備審議会での議論を踏まえながら、建設地や施設機能といった施設整備に関する事項や施設の運営等について具体的に取りまとめた基本計画を策定していきたいと考えております。新施設の検討にあたりましては、まちづくりの方向性を定めた石岡市総合計画をはじめ、中心市街地の活性化を掲げる「石岡市中心市街地活性化計画」、持続可能なまちづくりを推進する「石岡市立地適正化計画」、石岡市の文化芸術の推進についてとりまとめた「石岡市文化芸術推進計画」といった各種計画との整合性を図るとともに、劇場・音楽堂等の活性化に関する法律をはじめとする各法令で規定されている視点にも留意しながら計画の策定にあたってまいります。

「第2 施設の必要性」についてなります。令和2年3月に閉館した石岡市民会館は、文化芸術の活動や発表の場としてのみならず、コミュニティ形成の場としても活用されてまいりました。市民会館の閉館に伴い、現在、これらの活動は市内外の他施設へ分散し行われております。また、市内施設に関しましては、施設の老朽化や社会的劣化により、文化芸術を支える環境としては必ずしも十分といえるものではございません。このような課題等を解消するためにも、市民会館が担ってきた機能を引き継ぐとともに積極的な情報発信拠点、市民の憩いや多世代交流といった役割を担う新たな施設が必要であるものと考えております。さらに、年齢や性別、障がいの有無等に関係なく、市民はもちろん、市外から通勤や通学する方や市外在住者も含むあらゆる「ひと」が集い、交流する施設を目指していきたいと考えております。

3ページをご覧ください。今回の基本構想では、新施設の基本理念を「新たな活力で輝く未来へ 「文化」「ひと」「地域」の交流拠点」といたしております背景としまして、まず、新施設は文化芸術を継承、交流、発信する文化拠点であるとともに、人々が集い、互いに絆を結ぶ交流拠点を目指していきたいという思い、2点目としまして新施設の利用や活動等を通じて「ひと」と「地域」との交流を促進することで、生み出される新たな活力を、文化芸術の創造・発展・承継のみならず、石岡市を輝く未来へと導く、まちづくりの原動力としていきたいといった、2つの思いから設定したものでございます。新たな施設は、基本理念にもある「文化」「ひと」「地域」を結ぶ、地域の中核的な施設として、まちづくりという観点からもしっかり整理をしてまいりたいと考えております。さらに、基本理念の下に、4つの基本方針を設定いたしております。

まずは、「身近な文化・芸術の拠点づくり」でございます。新施設は地域文化を含むあらゆる文化芸術の交流拠点であり、文化芸術に関する情報の発信拠点となることを目指してまいります。また、引き継がれてきた文化芸術を将来へと引き継いでいくため、その担い手を育てる役割も担ってまいりたいと考えております。

続いて、「あらゆる「ひと」に開かれた空間と交流の拠点づくり」でございます。新施設は、文化芸術を通じ、子どもから高齢者まで多世代が交流する機会を生み出し、高齢者から子どもたちへ地域文化を伝承する場として活用されるほか、多様な「ひと」との交流を生み出す場所を目指してまいります。また、様々な交流を生み出すためには、施設そのものが常に人が集まるものでなければならないことから、多様な「ひと」にとってオープンで、思いのままに充実した時間を過ごすことができる居心地のよい、地域の居場所と思えるような場所を目指してまいります。

3つ目としまして「賑わいを生み出す拠点づくり」でございます。新施設と看板建築や常陸国総社宮等の街中に点在する多様な資源や、さらには八郷地域の文化・自然・歴史と連携し、周辺地域と融合することにより、地域全体へ賑わいを生み出していく拠点となることを目指してまいります。また、文化芸術と教育、福祉、観光と連携することにより、地域活性化を図ってまいりたいと考えております。

最後に「時代のニーズに柔軟に対応できる空間づくり」でございます。ユニバーサルデザインや多様性といったニーズ、あるいは新型コロナ禍で生まれた「新たな生活様式」等、様々なニーズに対応することにより誰もが利用しやすい施設を目指してまいります。また、新施設ではデジタル技術の積極的な導入を検討する一方で、その場で体感できること

で多くの感動を得られるという文化芸術の特性を大事にする等、デジタルとアナログの融合による質的向上にも取り組んでまいります。

ただいまご説明申し上げました4つの基本方針に加え、現在、文化庁が進めております文化部活動の地域移行を見据えた施設整備に取り組むとともに、SDGsの視点もしっかり取り入れていきたいと考えております。

次に4ページをご覧ください。今回の基本構想では、新施設の中核をなすホール機能を中心に整理しております。現在、県内には多くの文化ホールが整備されております。そのような中で、新たな施設に整備するホールは、他施設との差別化を図り、市のシンボル感や存在感、オリジナリティを持たせることで、県南地域でも特色あるホールを目指してまいります。また、ホールの規模、客席数につきましては、閉館しました市民会館のホール規模、968席を踏まえつつ、市民会館が稼働していた当時の利用状況、あるいは新施設において想定する実施事業等を考慮しながら、適正な規模を検討してまいります。

ホール機能以外の施設機能についてです。ホール機能とどのような機能を合わせて整備することが相乗効果を生み出し施設としての魅力度を高め、さらには利用する「ひと」にとって利便性の向上につながっていくのかを踏まえ、あらゆる機能について排除することなく検討を重ね、決定してまいります。なお、施設機能を決定する過程におきまして、重複する施設機能の集約化や複合化について石岡市公共施設等総合管理計画や各個別施設計画で定める方針を踏まえ決定してまいります。

続きまして「維持管理・施設運営」についてです。特に施設運営の点でございますが、新施設は、文化芸術を活かし、観光・福祉・教育といった様々な分野と連携することで広くまちづくりに貢献していくものと考えております。そのような観点から、庁内における運営組織について検討を行ってまいります。また、地域の人々が運営に参画できるシステムを構築していくほか、利用者視点を常に意識した施設マネジメントの確立を目指してまいります。

次に5ページをご覧ください。実施事業の充実は、新施設の整備効果を拡大・持続させるために大変重要な要素であります。自主事業に関しましては、新施設の整備目的や機能特性、文化芸術やまちづくりの方向性等を反映させた多彩で個性的な事業を展開していく必要があるものと考えます。また、貸館事業につきましても、新施設と地域の人々や文化芸術団体、市民団体等を結びつける重要な事業であります。利用者ニーズに応じた柔軟な管理運営、職員による施設PRやデータ分析等による活用提案等の利用促進へ向けて取り組むことにより、新施設利用の活性化を図ってまいりたいと考えております。

続いて、建設候補地でございます。市が保有する土地の中から新施設の建設に適していると思われ、かつ、本市のまちづくりについて定める各種計画との整合性が図ることができる土地を選定してまいります。今回、いしおかイベント広場、鹿島鉄道跡地、市営駅東駐車場の3つを建設候補地としてさせていただいております。これら3つの土地につきましては、新施設建設にあたりまして、都市計画で定める用途地域の変更、埋蔵文化財の試掘調査、地盤改良工事の実施等、様々な課題等を整理する必要がございます。これらを踏まえながら、基本計画策定の中で建設地を最終決定してまいりたいと考えております。

次に6ページをご覧ください。まず、事業手法についてです。行政が施設整備をし、管理運営を行う公設公営等の従来方式から、PFI等の民間活力を活用した事業手法まで、

様々な手法がございます。新施設におきましては、財政負担の軽減を図り、効果的かつ効率的に施設整備を進めていく必要がございます。コスト削減効果や事業期間内における完成、適正な施工といった視点から総合的に検討し決定してまいります。

財源確保へ向けた基本的な考え方でございますが、7. 健全財政の維持という観点から、無理のない資金計画、市の財政規模に見合った施設整備を計画するとともに、有利な財源の確保と歳出の抑制に取り組んでまいります。また、運営費・維持管理費の確保へ向け、貸館事業の充実と適正な利用料金体系の検討、文化庁や関係団体が行っている実施事業に対する助成金・補助金制度の活用、ネーミングライツや広告事業の導入による収入確保等、財源確保へ向けて検討を行います。

その他としまして、新施設の整備にあたっては、環境負荷軽減に対する取り組みや、地場産材等木材の利用促進等についても検討してまいります。また、幅広い年代の市民が、整備から運営までのあらゆる段階における議論に参加できるよう取り組んでまいります。以上が、基本構想（案）の概要説明となります。よろしくお願いたします。

■会長

ありがとうございました。ただいまの説明に関してご意見質疑をしたいと思います。

■委員

最終的に、この新施設整備事業の完成目標はどのように設定されていますか。

■事務局

施設の完成目標でございますが、予定しております財源等のことも考えますと、遅くとも令和12年度中に施設完成というものが求められているところでございます。こちらにつきましては、最終的なものでして、私どもとしましては、手続きをできるだけ迅速にスピード感を持って進めていくことにより、前倒しして、できるだけ早く施設の完成を目指して参りたいという考えでございます。

■委員

完成目標から逆算すると、基本計画はいつごろまでに策定を予定していますか。

■事務局

令和12年度の完成ということから逆算をしていきますと今後、策定を進めていき基本計画につきましては令和5年、令和6年度中にこの審議会でご議論いただき、その後取りまとめしていく必要あるものと考えております。

■会長

ご説明いただきましたが遅くとも、令和12年度に完成ですので、前倒しはあるということです。現在の社会スピードは速いので、補助金の関係から遅くとも令和12年度で建物が完成とあるが、早く建物が完成することはまちづくりへの効果が早期化されるので良いことではないかと思えます。

■委員

基本的に市民会館を作るという議論を進ませていきますか。委員の皆さんは同じ見解です。前回、市民の皆さんが市民会館を作る必要がないという意見がありました。それをどのように理解してもらいながら進めていくのか。また、市民をどう巻き込みながら進ませていくのか、議論をもっとしてもらいたいというところの中で、こちらはもう市長も含めて市議会議員の先生方が1回「NO」とおっしゃっているじゃないですか。そこのお話をもうちょっと聞かせていただければと思います。

■事務局

その議論は1番最初に話すべきでした。大変申し訳ございません。私ども石岡市としましては、やはり市民会館か閉館になりまして、文化芸術とコミュニティ形成という部分で、いろいろ市民会館が役割を果たしてきました。やはり、市民会館がなくなったことにより、今、困っているという部分も私どもの職員としては感じておりますので、まずはその市民会館に代わる施設を作りたいと思っております。それを市民の方にも理解してもらうために、こういった審議会でいろいろな議論をしていただき、また議会の方でもいろいろ議論をしていただき、そういった議論したものを市民の皆様にもお見せして、ご理解をいただいて進めていきたいというふうに考えております。この場の中では作る、作らないということも重要ではありますが、私どもとしましては、作るためにどのように市民の皆様に納得してもらえるのか、理解してもらえるのか。これを1番に考えていきたいというふうに思っております。よろしく願いいたします。

■会長

納税者である市民の理解を得ないと議論を進められないというのはあります。

■委員

議論が進まないということは、この会が何のためにあって、それをどういうふうに反映されるかというところで、委員の皆さんも言いづらいことはあるのではないかと思いますので、基本路線は合わせておきたい。

■委員

みの〜れ物語をつくる時に参加したと言う話をしたときに、中学生と一緒に当時の美野里町の島田町長にインタビューをしたこともありました。その際に島田町長がうまいこと言うなと思ったのは、中学生が「税金使って、こういう文化センター作ることに何の意味がありますか」みたいなことを言っていました。その時に島田町長が答えたのは、「農家にはどこにでも田植え機械があるよね。田植え機械って年に何回使う。でもやっぱり、農家には必要だよ。」というようなことをおっしゃったのは印象に残っています。委員会は何回も開いて、話を詰めてきました。その時に広報紙を何回も発行して市民会館についての進捗状況を何度も広報したというお話を伺っています。アンケートで市民の半数以上が複合文化施設の建設について知らないという現状もありました。本当に手厚く何度も繰

り返しながら説明会を開くことも大切ですし、そういう広報を毎月配って市ではこういうことを進めていることを市民に周知してもらってことは、これから進めていく上で大切なことなのかなと思います。

資料を貰って1週間はあったので、じっくり読ませていただきました。一体、何を目標しているのかというところがよく見えてきませんでした。私はこういう施設を作る上で大切なのはハード面よりもソフト面です。こういうソフト面があるから、こういうハード面が必要になってきます。また、目標とするものは、そこで何が行われるから、そのためには、施設はこういうものが必要だねということになります。あり方を考えてからではないと、きちんとしたそのハード面の建物ができてこないのかなと考えます。そういう点で、この資料を読ませていただくと、ちょっと曖昧な部分があります。例えば、基本理念の最後の新施設では文化芸術を継承、交流、発信する拠点というふうに謳っておいても、またというふうに付け加えた中で、今度は文化芸術の創造・発展・承継に取り組むとあります。ここで創造が初めて入っていますけども、この創造はやはり最初に入れて欲しいなと思います。市民と文化を作っていく場所を目指していきたいとその下の四角の中の新たな活力と言ってありますけれども「文化」「人」「地域」、この3つが関わって生み出される力ってありますが、この具体的には、どんな具体的なものが出てくるのかという、抽象的な内容になってしまっています。そこで具体的には、という言葉から文章が始めているので、何か曖昧な目標設定が感じられます。下の4つの柱の中では、文化芸術の担い手を育てる。これを大切なソフトだと思えます。また、育てなければ、文化は発展していかないというようなこともありますけど、それを「なぜ」、「どのようにして」、「誰を」させるのかというようなことも明確にしていきたいです。

2つ目のところでは、地域の居場所として利用できるとは、その地域の居場所というのは自分で言ったら近いところではないかという気がします。市の中心にある施設をわざわざ八郷から行って、そこで居心地がいいねということは考えられないです。地域の場所とは本当に身近にできるものがあるので、この施設は少し違うのではないかなと思います。

■会長

大きく分けて2つですね。まず、1つ目は市民との情報共有、2つ目は文章のことですけど、これは後で直すとして、市として方向性をお知らせいただければと思います。事務局説明をお願いします。

■事務局

まず1点目の情報発信という部分でございます。ここにつきましては、前計画の部分で大きな反省点と考えております。結果としてなかなか情報発信ができなかったということがアンケート結果で、複合文化施設の認知度や事業を知らないという回答が多かったというところに結びついたものと思っております。ここにつきましては、今後はしっかりと情報発信をしていきたい。当然、この審議会の議論もです。あるいは、市が進めていく上で方向性等もしっかりと情報発信をしていきたいと思っております。また、情報発信もいろいろ工夫をしながら、できるだけ幅広い年代に情報が届くように市報、広報紙のみならず、ホームページ、いろいろなSNSといったものをフル活用して、情報発信をしていき

たいと思っております。

次に2点目の今回の方向性という、なかなかイメージが付きづらい、曖昧だという部分でございますが、まずは私共として今回、この設定しました基本理念、新たな活力で輝く未来へ「文化」「ひと」「地域」交流拠点でございますが、新たな施設は、石岡市にとっては、当然そこに行けば、文化に触れられる等、文化に関する様々な情報発信するあらゆる拠点になっていって欲しいと思っております。そして、そこに行けば文化だけではなく、いろいろな人と交流できる。そして人との交流というのは広がっていけば地域交流にも繋がってきますので、その施設をあらゆる交流の拠点にしていきたいと思っております。確かに抽象的と言われれば抽象的な部分ですが、そこで例えば、若い人と高齢者の交流を通じて、子供たちが何か新しいことを知るといふきっかけを作ってもらいたい。

そういうきっかけを作ることが積み重ねていくことで、この石岡市の発展につなげていって欲しい、そのような思いもありまして、新たな活力の検討及びまちづくりに活かしていって欲しいという思いを書かせていただきました。なかなか伝わりにくいというご指摘につきましては今後、文章的な修正も踏まえまして、検討させていただきたいと思っております。

■委員

訂正、修正を期待したいと思います。ただ、様々な文化を受け取り発信するというのは市民にとっては抽象的ですね。市民はそれを読んで、ああなるほど、そうかってなかなか理解できないところがあるかと思えます。また、話にあった若者からお年寄りまで一緒に交流するということができるのかなと危惧しています。

先ほどソフト面について年寄りから子供までが共に共有できるソフト面としてはお祭りぐらいしか、私は想像が付きません。若者の好む音楽はあると思いますし、高齢者が好む音楽もあります。それを共にというのはなかなか難しいと思います。ある程度は分かれて行ってしまいます。若者のための音楽イベント、高齢者に対する音楽イベントではないと、ソフト面としては多少違ってくるものがあると思います。それは、なかなか難しいと思います。先ほど申し上げたようにソフト面として、たくさん用意できれば、高齢者と若者が交流できるのかなと思います。

次にホールの音響で私たちが気になるところで、ホールの差別化、オリジナルティと言葉が出てきましたけども、ホール命は何かっていうとやはり響きだと思います。20年近くありますけど、つくばでノバホールができたときは評判になりました。何がっていうと残響時間を変えられる。1.4秒から2秒までの間で残響時間を変えられます。新聞には、こんなふう書いてあったと思います。屋内で、残響時間が変わったのを聴けるのはこのホールだけだ。みたいなことが書いてありました。そういうすごいものができたのだなと思いました。そういうホールであれば、響きの良さ、演奏が活きるホール、ホールの差別化、あるいはオリジナルティに繋がっていくのかなと思います。

みの～れのホールの響きがいいほうです。あそこも確か残響時間が変わりますよね。そういう、中心になるホールがあるとそれはやはり一つのオリジナルティだし、市にとって、差別化ができるのかなと思います。

今のところ、ノバホール、みの～れ、常陸太田パーティホール等の響きの良いホールが

使われます。貸館事業やるとしても、良いホールでなければ借りたいていう人は出てこないと思います。そういった、ソフト面の機能が求められてきますので、その辺から考え直していきたいなというふうに思います。

■会長

文章の作り方について、よろしければ委員も入っていただきながら、作っていただければなと思います。

■事務局

ご意見いただきましたホールの機能は近隣自治体と差別化を図り、当初からホールを目指していくということで、具体的にどういうことなのか、音響なのか市民性なのか、いろいろあると思っております。具体的な部分につきましては、次のステップで基本計画の中で整理をさせていただきたいと思っております。

私どもも全計画を取り下げて、この構想を見直す過程で、みの〜れさんもそうですし、いろいろな施設を視察させていただいた中で、やはり運営して実施している事業の重要性というのは、改めて認識をしたところでございます。

どういった事業を展開していくのか、それに合わせて当然、施設規模や特性も変わってくると思います。そういう部分もこの次の基本計画の中でしっかり整理をしていきたいというふうに思っております。

■会長

今回は基本構想（案）ですので、多少曖昧にしておきたいです。そうしないと決まっていきませんので、そこはご理解をしていただきたいです。ここの基本構想が1番拠り所になっていますので迷った時、ここに立ち返りますので、ここはしっかり作っておきたいと思っておりますので、ぜひお力を借りしたいと思っております。

■委員

まず、市民会館が閉館になった前に本来でしたらば、市民会館を新たに建てるという計画をつくるのが一般的だと思います。コロナで非常に社会情勢が変わって、コミュニケーションがなくても大丈夫なような社会環境でもあった中でも必要だというような状況ではありますが、1番はやっぱり石岡市にとって魅了あるまちづくり、本当によくなるまちだろうなという確信をした目標を持たないと市民とコミュニケーションは取れないと思います。八郷にある中央公民館、地域にある集落センターある中で、恐らく使っていないような集落センターもかなりあるのではないかと思います。そういう全体の状況でのこの市民会館は、例えば晴れの舞台になる場所だからということで、みんなが夢を描けるようなことで思い出を作っていただくことが大切だと思います。結局、市民にとっては財源を使うというイメージがあるので、皆さんが楽しいなという夢の場、集える場所なんていうのは非常に見せることが必要だと思います。その辺がないと盛り上がっていかない。特にソフト面の部分で、行政は本来、市民の皆さんの快適な生活環境を整備するのが仕事だと思います。その中に道路があり、水道があるのと同時に、文化、教育、福祉、全部、大体その文

化も同じ位置付けでまちづくりの中で重要な存在であるということが、市長はじめ、まちの意識の中に存在したものをしっかり提示してお金を使って、豊かな100年生涯のために絶対不可欠なものだという部分が、底辺でないとおそらく盛り上がっていかないと思います。そういうことを進めた上で、例えばハード面は相当の短期間にできる時代だと思います。

箱型にして音楽なのか、扇形にして劇場型なのか、グループや専門家っていうのは、次の議論で皆さんがどんな特徴ある文化施設を作りたいであれば割合、早く進むのですが、その根本の部分のまちづくりということは謳ってない。こういう厳しい社会情勢の中で市民が、ぜひ作ってほしいよ。という決意がないと、おそらく普通の市民会館になってしまう。そういう部分の確認であったり、勢いを作っていく必要があります。

■事務局

今回、審議会委員の皆様方にいろいろな本当に意見を出していただきながら、より良いものにしたいと思います。1番、最初に会長が市民ホールを作るだけではなく、その周りに付随するまちづくり。そういったものを考えていかないと、建物を作りましたから、人が来るではなくて、その建物を作ることにより、まちづくりも変わりますので、そこにどうやって人を呼んで動くか。また、そこに本当に市民の人に気持ちよく使ってもらえるのか、それに行政だけではなくて、そういういろいろな人の意見、また若い人や高齢者もいると思いますが、いろいろな意見を聞きながら、この審議会委員、皆さんと一緒に議論をしていながら作っていきたいと思いますので、よろしく願いいたします。

■市長

本当にこういう意見をたくさんいただきながら、この審議会委員の皆さんからの意見をしっかりと汲んでいきたいと思っております。私の方から2つあります。

1つ目は石岡市にとって何が必要か。やはり文化っていうものは文化がちゃんと薫る町とよく言いますが、その文化の薫りというものはしっかりこの石岡の中で作られていく必要があるだろうと思っております。やはり文化があるところに人が集まります。人間が生きていく上では文化というものは大事な足跡でもあるし、必要なものであると思っております。石岡市で文化がしっかりと薫っていく、その文化があることによって、市民の声に繋がっていくと思っております。

改めて石岡市の文化とは、石岡市の文化でどのようなものなのかな。その石岡市の文化を作っていくということを文化施設に求めていきたいと考えています。現在、ホールがなくなりました。美術館、博物館、その他ギャラリー等、発表の場所もございませんので、この石岡の文化というものはどのようなものなのかと。それを作っていく、いいきっかけとなり、中心的存在になるのかなと考えています。

2つ目は総合計画では、誰もが輝く未来へ共に創る石岡市をキャッチフレーズとして掲げさせていただいてます。「誰もが輝く未来」の未来という部分は、私は石岡市の未来は子供たちがその未来を担うということだと思っておりますので、子供たちや子育てをしていく環境整備は非常に大切なものだと思っております。その中で、SNSやバーチャル等、専門家だとわからないような中で、この文化芸術というものは、人間の創造性や発想

力や人間力を醸成するためにも必要不可欠なものだろうと思っております。今の石岡市の芸術といったときに非常に弱い状況になっております。子供たちの未来を作っていくため、石岡市の未来を作っていくために、しっかりこの芸術という人間らしい力を使っていくために、芸術というものをしっかり街の中心に据えていきたいなと思っております。その文化、芸術、これこそが、石岡市の望んでいくものではなかと私は思っておりますので、どうか皆さんのご意見をお願いします。

■会長

非常に大事な視点だと思います。委員はご経験豊富ですので、ぜひご指導いただければと思っております。

■委員

やさとクラフトフェアって知っていますか。八郷地区にはすごく「ものづくり文化」があり、やさとクラフトフェアはきちんとしたハード面がなくともソフトで成り立っています。そういうお話を聞いたところでいうと先ほど委員がおっしゃったように、ソフト面に対してのハードというのは、とても賛成しております。

この閉じてしまう市民会館が5W1Hというか、どんな人、どんな団体がどのような人数で、何に使っていたのか等をすべて、デジタル化されてない部分もあり、大変だとは思いますがそのようなデータを今回の資料から見つけることができませんでした。時期については、12月、1月はすごく使われていますが、6月は、伽藍堂で利用者がいないのであれば、まずはどういうニーズがあって、この市民会館はどう使われていて、今、使えなくなって、具体的にどんな問題が起きているのかというソフト面を決めるための材料が少し欲しいなと思いました。

■事務局

今後ホールについていろいろ検討していただく上では、旧市民会館の利用状況であったり、あるいはどういう時期に集中し、あるいは時間帯別の利用頻度等、そういう部分は議論の土台となる部分でございますので、しっかり私どもの方でご提示をさせていただき、皆さんと情報共有させていただきたいと思っております。

■会長

委員が話した利用者等のデータは次回までに資料データをご用意していただきたいと思っております。

■委員

市民会館の代替として作るというのはすごくコミュニティの場とか、文化を発信として大切だと思いますが、今から新しく施設作るのであれば、他からアーティスト等と呼べるような場所を作って、石岡と八郷は観光資源があるので、それを活かしたようなホールを作れば、収益を得ることもできるし、石岡の未来が発展していくのかなと今、聞いて思い

ました。

■事務局

委員おっしゃる通り今度、新しく整備をしていく施設につきましては、やはり従来の市民会館と同じものを作っては、意味がないということでございます。当然、新しい部分を取り入れていく、あるいは将来利用してくれるだろう若い人の意見も積極的に取り入れていきます。例えば、今、使っていただける現役世代の声をしっかり聞いていく。そういうことを踏まえながら、よりよい施設を整備していきたいというふうに思っております。

また、構想でもありますように、新施設は当然文化芸術であります。いろいろな文化、福祉、観光であったり、そういう部分と連携をしていき、そのホールが集客施設になりますので、そこに集まってきていただいた人を、いかにまちなかへ、あるいは八郷地域と関連性を持たせて、人の流れを作っていくことが、大きな課題であると思っております。そういう部分も、今後、審議会の委員の皆様にご意見いただきながらまた、庁内でもしっかり議論をさせていただきながら取りまとめていきたいと思っております。

■委員

委員を希望するにあたって、芸術、文化の拠点だけでなく、部活動の地域移行への一助として活用できるか、そして何度も出ておりましたが、若い人たちの交流の場、子育ての中の人等は、そうした交流の場を求めているのだらうと思っております。そういうところを注視していけば、地方創生に繋がっていくということなのかなと思っております。

私はこの構想には本当に必要なことがふんだんに盛り込まれていて、これを一つ一つ実現に向けていけば、相当すばらしい県内で最先端の施設ができるのではないのかなと思っております。また、新しい施設は他に自慢できるはずだと思っております。

私が小学校の時に市民会館できまして、随分利用しました。音楽を長くやっていたので、当然発表の場としても利用したり、鑑賞に出向く等、一緒に市民会館と過ごしてきました。箱物を作るときにお金がかかるっていう意見は必ず出てくると思いますが、今の若い人達が50年先、100年先に、何か一生懸命こうして作ってくれて、良かったなと思ってもらえることを絶対にするべきだと思っております。

県内の市町村の中で、市民会館という施設が一つもない現状は残念。歴史もあるし人口がある程度あるまちですし、大変かもしれないが、将来のことをとにかく考えて欲しいです。市民ホールは、市民にとって誇りであって欲しいです。

■事務局

まず1点目文化部活動の地域移行についてございますが、文化庁、スポーツ庁いずれも部活動を地域移行に進めている状況です。当然、石岡市でも今後そのような方向に進んでいくと思っております。運動部で言いますと、野球にはもうすでに野球場ある。サッカーについてはサッカー場がある。ただ、市民会館が閉館した石岡市にとって文化部を受け入れる施設は、現在ないのが現状です。

新施設につきましては、そういった文化部活動の場としても活用していただけるような施設を目指していきたいと思っております。中学生や高校生、当然、どんどん減って中

で、なかなか単独校で部活を維持するというのは今後、難しくなってくることも想定されます。これから一つの拠点があれば、中学生や高校生がそこに集まって、例えば吹奏楽をやる。例えば書道をやる、いろいろな文化部の体験ができる、そのような可能性を秘めた施設にしていかなければならないというふうに思っているところです。そのような部分につきましても、今後しっかり検討して参りたいと思っております。また、今回施設整備することにつきましては、大変大きなお金がかかってきますので、将来の負担を残すという大きな懸念もありますが、そこはしっかり今回の構想で出させていただきます。

市の財政規模に見合った施設整備を計画していくというところで、しっかりと計画をして、将来の若い人たちに石岡市にはこういう施設あるよと自慢できるような施設整備をしっかりしてまいりたいと思っております。それはハード面でも、ソフト面でも同じことが言えるかと思っておりますので、審議会でご議論、ご意見をいただきながら、私ども取りまとめたいと思っております。

■委員

今の子供たちの劇がそこで発表できると思うと誇りに思いますが、できるだけ早く完成させて欲しい部分があります。

時代が本当に早いのかなと思う中で、その時代に今、最新の音響システムがあって、あと3年したら、もうそれは古い物だと思います。それは使えなくなるという考え方がでてくるぐらいの時代に誇りや良いものをずっと使うことが良いことだろうかと思えます。また、建物は建てるけれども、なかなかリニューアルするためには、維持経費がどれくらい使ったほうが良いのか、よくわかりません。そういうところを大学の先生なんか教えてもらいながら、進ませていくのが良いのではないかなと思います。

今の時代、本当に石岡市の子供たちが使うって言っていますけど6年後は大人になっています。今年の出生者数も本当に少ないので、人口統計等を含めながら、議論を重ねたいなっています。

■事務局

確かに施設完成までにまだまだ時間がかかることで、今の子供たちが実際に新しくできた施設を使うのかと思えますが、私どもとしても、できるだけ早く、しっかり整備をしていきたいという思いがある一方、30年40年とよく使っていただく施設にしていくには、今しっかり議論していきたいという部分もありますので、そこはもう慎重な議論とスピード感を兼ね備えながら、しっかり進めていきたいと思っております。また、当然施設整備に関しましては、規模もそうですが、やはり人口が減っていく中で、どれくらいの施設規模が石岡市には必要になるのか、あるいはふさわしいのか、そういったものは当然、大きくくる部分でございます。そういう部分も踏まえながら、今後しっかり議論を進めさせていただきたいと思えますし、いろいろ必要な情報については、私どもとしてもしっかり整理をして、皆様にご提示をさせていただきたいと思えます。

■委員

これまでの議論を拝聴しました。ソフト面の重要性というのは全くその通りだなと思

ました。少しハード面について、意見を述べていただきますと、市民ホールを交流の拠点にするということは、すごくチャレンジングなことだと思います。なぜかという、市民ホールっていうのは、窓がない大きな箱ですよ。そこを交流拠点にする開放的な施設にするっていうのは、設計の視点からすると矛盾します。どういう建物にするのかというのは、建築設計としてのオリジナルティの出どころかなって思います。

この概要版の4ページでホール機能以外のところは交流の拠点になるべきところとあります。これからのアイデアを出すところについて、ホール、音響時間というのも一つのオリジナルティだが、ここをどうするかというところで、施設自体のオリジナリティにもなります。あとは石岡市の将来を見据えた計画ができるかどうかだと思います。

先ほどグループ活動の活動拠点になるっていうのは、それはすばらしいことかなと。まず毎日、放課後になると子供がそこに来て一生懸命活動するのは素晴らしい施設であり、その文化部活動が、教室ではなくて、専門的な設備のある場所で練習ができるというのは素晴らしいことかなと思います。そういう施設はあまり聞いたことはないの、石岡市の新しい市民ホールの在り方が、社会に対して提案できるものになるのではないのかなと思います。

最後に委員から、できるだけ急いだ方がいいのではないかという意見がありましたが、それはすごく難しいところだと思います。日本の公共施設の計画というのは、予算や補助金等、いつも締め切りを追われながら、ここまでやらなきゃいけない等あります。今回の計画は令和12年度竣工となっています。議論する時間が十分にあって良いなと思います。できるだけ早くその今の状況を改善したいっていう。ということがあるが、じっくり議論されたらどうかというふうに思いました。

■委員

市民会館は小学校くらいでしか関わっていないが、目的を持って施設利用することを考える必要があると思いました。

■事務局

市民会館でいいますと、例えば何かそこにやってイベントに参加するとか、何かなければ、行かないっていう人の方が多かったのかもしれない。

今度の施設につきましては、いろんな事業をやっていく、あるいは文化活動をしているいろやっていくということで、目的がなくても、その施設に行ってみようかなと思わせる仕掛けをうまくやっていけばいいのかなと思っています。1回行ってみれば、何か自分なりに目的を見つけて、じゃあ次また行ってみよう、じゃあ次は友達を誘って行ってみよう等、どんどん裾というか幅が広がっていくと思うので、やはりそういう部分で施設利用者をどんどん増やしていく、新規の利用者を増やしていけば良いなと思います。

そのためには、委員皆様が言われているソフト面の部分が大変重要になってくるのかなと思います。また、基本方針にもありますように、地域の居場所、居心地の良い場所を整備することで、そこに行けば時間を過ごすのに良いなど。目的がないけど少しだけ行ってみたり、1日施設で過ごしてみようかなと、気軽に目的がなくても来てもらえるような、そういう敷居が低い施設、そういう施設のあり方というものが大事なかなと思いますの

で、そういう部分も含めましていろいろ広くご意見いただきながら検討していきたいと思
います。

■委員

あまりにも募る思いが強すぎました。委員会の今後の流れお聞きしたいと思います。
もし、今後の流れで次はこういうことやりますとか事前にわかれば、私のほうも、少し分
散して話します。

■会長

現段階でのストーリーをお願いします。

■事務局

現時点での複合文化施設整備審議会の予定は、冒頭で話しをさせていただきましたよう
に令和5年令和6年で基本計画の策定をしていくということです。当然その策定にあたっ
て、今年でいろいろご意見をいただくということで考えています。その中で、今年度につ
きましては、その施設のハード面の整備において、ポイントとなる建設地、施設機能、事
業手法、この3つについて、ご意見をいただきまして、年明け2月に中間答申をすると言
う形で取りまとめを行っていきたくて思っております。現時点でのスケジュールですの
で、今後の議論の進め方についてソフトからハードの議論の進め方がいいのか、それと
も、ハードを確定させてから進ませていくのか。正直事務局としても決めきれない部分も
あり、今後は詰めていく必要がありますが、今年度につきましては、5回程度、この審議
会を開催していきたいと思っております。

次の委員会の日程でございますが、この構想案につきまして、パブリックコメントの諸
手続きを経まして、確定をさせていきたいという部分があります。次回は7月3日月曜日
の13時30分から開催をしたいというふうに思っています。日程等につきましては改めて通
知により、委員の皆様にご連絡をさせていただきたいと思っております。

■委員

芸術を中心に据え、市民のみんなが誇りを持てるようにというところで素晴らしいなど
感じております。音楽が地域にあると豊かになるということもまずは実感していただくっ
てことは、大事なのかなと思って聞いておりました。

そういう施設が必要だというふうになったら良いなと思うし、そうないないという
ことはやっぱり地域の芸術があまり盛り上がっていないだろうなということも感じていま
す。ハード面では人の交差点となって、文化芸術に遭遇する場所で何をやるか、そこで文
化芸術に関心を高めてくれれば、豊かであることに気づいてくれる人たちが増えるかもし
れないと思います。そうなれば、芸術を中心に据えた夢への実現に近づくのかなと考え
ながら聞いてました。

■委員

市民会館時代から施設を利用させていただいて、今は、中央公民館を利用させていただ

いております。施設建設はお金の面もございすが、できれば早い時期にこの複合文化祭施設ができればという願いを持って参加しております。また、先ほど子供たちが、集まれるような施設ということで、それは私も提案したいなと思っていました。利用する高校生が相当数いらっしやると思いますので、気軽に寄れるようなそんな施設が良いなという思いがあります。

■委員

施設の実現のためには、作ることの利点と使い道をきちんと示す必要があります。他には市民の豊かな生活ということになるのかなというふうに考えました。

市民の生活で申し上げますけれども、部活動はものすごく縮減されております。これは皆さんご存知の通りで、1日1時間半しか練習できません。確かこれは高校も同じだったと思います。部活動が地域移行になったとしても、我々が若かったころ、ほぼ無制限にやっていたような部活動はおそらくできないのかなと思います。学校行事の授業等においても合唱コンクール等、この大きな複合文化施設でやるためには、かなりの練習と仕上げが必要になってきます。短い時間で仕上げるのは難しいなと思いました。

私なりに整理したのは、おそらく世の中が何年後かしたら、もう少し部活動もやるべきだとか、そういう流れがもしかしたら来るのではないかなと思います。芸術文化に一生懸命打ち込めるような場をきちんと設けることは、すごく良いことだと思っています。

■委員

八郷地区の柿岡で育ったので、あまり石岡市民会館を利用した経験がありませんでした。たまに上映していた映画を観に母に連れてきてもらったことがあります。あとは成人式ぐらいで利用したことがないです。

今でも結構、旧石岡と旧八郷では隔たりがあるような気がします。せっかくできるので、八郷の人がわざわざ石岡に行くような、そんな施設になればいいなと思います。石岡は映画館がないので、子供たちが映画に触れる機会があればいいなと思いました。

■委員

石岡市民会館は映画鑑賞や小学校のときは合唱団に所属していたので、市民会館を利用していました。市民会館が閉館すると聞いたときは寂しい気持ちでした。映画鑑賞や合唱団としての利用した思い出の施設がなくなるのは寂しいです。ただ、今回に関して、また市の顔になるような大きい施設を作ると聞いてうれしく思いまして、喜んで参加させていただきました。

今回、作る施設に対して、みんなで集まって、いろんなことをしようっていう施設になると聞いたときに、この施設ってどれぐらい大きい施設ができるのかなと思いました。建設候補地は三つほど挙がっていますが、皆さんのその熱い思いが込められたその施設ができたときにその施設に行くのにみんなどう交通手段を使うのかと思いました。皆さんの強い、熱い気持ちの施設って相当規模ができるのではないかと思います。その場合、駐車場はほとんど足りないと思います。そして交通手段としてバスになると思います。市全体の公共交通も見直していかないと、この施設に人が集まってくれるのかなと思いま

した。人が集まりやすいように、公共交通はどのようなことができるかと、皆さんと一緒に考えていきたいです。

■事務局

たくさんのご意見ありがとうございます。皆様の思いが私ども伝わってきますので、それに応えられるようにしていきたいと思います。また、いろんなご意見ありますので、そういったご意見を受けとめながら、この審議会に出た意見を尊重しながら進められるように考えておりますのでよろしくお願いいたします。

■委員

市民の中で以前、市民会館で発表したことがある人たちが、自分の子供が発表する場面を見たい。自分が子供だったとき、お母さんお父さん見てもらったから、今度は自分が見てあげたいという話を聞きました。早く市民会館を作って子供たちのための施設ができたらいいなと思います。

■委員

私が思ったのは、私自身が市民ホールを利用することが人生の中であまりありませんでした。でも、新ホールは私みたいな人でも行きたくなるような気持ちになれるような場所にこの皆さんで話し合えば、でき上がってくるのかなと思います。次の世代へ作り上げるためには、他分野の意見を聞いて非常に私も参考になって勉強になりました。1番いい形に進めていければ、皆さんとともに作り上げられるのではないかと思います。

■会長

今日の話を経括するのはなかなか難しいと思います。市民会館の過去50年、60年のDNAを活かしながら、一方で部活の地域移行、コロナ禍ことも踏まえて変わっていく時代です。そういう意味で、時代にカスタマイズできる施設を作っていくのかなと感じました。議論を重ねながら、進めていきたいと思います。

■事務局

それでは、その他としまして事務局より、当審議会における傍聴に関する取り扱いについてご説明をさせていただきたいと思います。次回の会議以降、傍聴についてお認めいただきたいと考えております。傍聴につきましては、定員を10人とし、会議開催予定時刻の30分前から先着順に行っていきたいと考えております。ただし、30分前の時点で定員を超える場合は、くじにより傍聴人を決定していくものといたします。また、順守事項についても定め、守られない場合は退場させることができることとしてまいります。傍聴についてお認め頂ける場合は、傍聴に関する要綱を策定してまいりたいと考えております。

それに基づき、次回の会議以降、傍聴させていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

■会長

傍聴されると発言しにくい部分もあると思いますが、こういう時代ですので、認めただければと思います。

■委員

10人に限定するのはなぜか。

■事務局

1番は場所という部分がございます。

本日のこの会議室の状況も見ただけであればと思いますが、かなりスペースが必要になりますので、10名ということで今回ご提示をさせていただきました。

■会長

認めていただけることでよろしいでしょうか。

それでは議事を終えます。

事務局にお返しします。

■事務局

以上をもちまして、令和5年度 第1回 石岡市複合文化施設整備審議会を終了いたします。石岡市複合文化施設整備の基本計画の策定に向けて、委員の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。本日はありがとうございました。